

しゅあつきー



シャッキーは厚岸町社協のシンボルキャラクター名です

- あっけしの町を良くするしくみ～赤い羽根共同募金～
- 心和園だより～令和2年度敬老会について～
- 新連載！「梅香発信」居宅介護支援事業所
- 生活支援コーディネーターのウォーキングマップ
- 第2回ヘルパー日誌
- コロナ禍の老人クラブ連合会活動



厚岸町老人クラブ連合会の生きがい事業《工作教室》の一コマ。例年は月に1度の開催ですが、コロナの影響で7月から再開されました。

今回は、ペーパークラフトで手提げバッグに挑戦し、教わりながら一本一本丁寧に編み込みました。感染予防対策や新しい生活様式を取り入れながらの開催に、参加者は大変協力的でした。



『あつけしの町を良くするしくみ』

赤い羽根共同募金

運動期間10月1日～12月31日まで



赤い羽根共同募金は、地域の福祉団体やボランティアなどの地域福祉活動を支えるための募金活動です。来年度の使いみちを今年度に計画し（計画募金）、募金の目標額を決めています。本運動にご理解いただき、皆さまのなお一層のご協力をお願いいたします。


今年度の目標額は 2, 200, 000円

 助成を希望する団体を募集しています

共同募金は、多くの福祉団体やグループ活動支援に活用されています。今年度の募金は、助成を希望する団体へ来年度助成されます。助成を希望される方は、事務局までご相談ください。

■助成対象

- ①子育て支援
- ②高齢者支援
- ③障がい者・障害児支援
- ④ボランティアイベント
- ⑤地域サロン など

 共同募金にはいろいろな募金方法があります

- 戸別募金／自治会を通じて、世帯ごとに行う募金
- 法人募金／企業・団体・商店などを訪問して行う募金
- 職域募金／企業、団体単位で職員に呼びかけて行う募金
- 学校募金／福祉教育の一環として、学校を通じて行う募金
- 街頭募金／人の集まる場所、イベント会場など街頭で行う募金

「赤い羽根自動販売機」を設置しませんか？

～心もあたたかくなる自動販売機～

会社や店舗前などへ、赤い羽根募金機能付きの自動販売機を設置していただくと、飲料を購入することでその売り上げの一部が共同募金へ寄付されるしくみです。

設置費は基本無料ですので、ぜひ、設置をご検討ください。



※電気代（月々2,000～3,000円程度）のご負担が必要となります

令和2年度 寄付金付きピンバッジ

～500円募金でひとつプレゼント～

厚岸町では、次のピンバッジを取り扱っています。

500円の募金でおひとつプレゼントしています。

製作費を差し引いた金額が、共同募金へ寄付されるしくみです。



社会福祉センター窓口で取り扱っています



令和2年度の
募金のつかいみち



高齢者支援
330,000円

- ・ 演芸交流会（老人クラブ連合会）
- ・ 生きがい事業（老人クラブ連合会）
- ・ 心れあい会食会（社協）



障がい者(児)支援
500,000円

- ・ こう福祉21（こう福祉21実行委員会）
- ・ 町外研修旅行（身障者厚岸町分会）
- ・ 会員研修旅行
（コミュニケーション障害の会）
- ・ レスパイト事業
（障がい者・児を持つ親の会なないろ）
- ・ 社会研修事業（工房るうぶ）



子育て支援
60,000円

- ・ 読み聞かせ事業（ちいさな絵本箱）
- ・ 親子でるるる
（地域子ども会育成連絡協議会）



その他の福祉活動支援
813,000円

- ・ 学校ボランティア助成（厚岸小学校）
- ・ 医療講演会（難病連厚岸・浜中支部）
- ・ コミュニティカフェ・地域食堂（社協）
- ・ 心らっとニコニコ広場（社協）
- ・ たすけあいチーム助成（社協）

※コロナ禍の影響により、上記事業が中止になった場合は、その助成金が次年度以降に活用されます。

令和元年度に

赤い羽根共同募金が応援した団体から
お礼のメッセージをいただきました

厚岸町地域子ども会育成連絡協議会
野外活動体験事業「親子でるるる」

この事業は、町内の親子を対象として毎年冬に開催し、野外体験活動・温泉や食事などを通して親子の絆を深めるとともに、世代間の交流を目的としています。

昨年度は川湯温泉に行き、スノーシューと温泉を楽しみました。

子ども達は頭からつま先まで真っ白になって遊び、雪を食べ、つららをポリポリとかじって「美味しい！」と笑い、それを保護者の方がニコニコと見守る姿が印象的でした。

毎年、参加者の皆さまから「また来年も来たい！」という声が聞こえる、とても有意義な事業ができました。本当にありがとうございました。



募金はスマホから
もできます



問い合わせ先

厚岸町共同募金委員会
TEL52-7752 FAX52-6044
厚岸町梅香2丁目1番地 社会福祉センター内

厚岸町立特別養護老人ホーム心和園だより

令和2年度敬老会について

特別養護老人ホーム心和園及び在宅老人デイサービスセンターでは、毎年利用者の長寿の祝いである敬老会を盛大に行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、規模を縮小して行いました。各事業所の様子をお伝えします。



■心和園

今年の敬老の日は9月21日でしたが、敬老の日としてなじみの深い9月15日に敬老会を執り行い、心和園施設長より厚岸町からの祝金と敬老記念品を対象者に贈呈しました。

入居者や家族の皆さまにとっての大切な日に、家族をお招きすることができず、職員一同大変

心苦しくありましたが、皆さまにおかれましてはご理解・ご協力を賜りお礼申し上げます。

また、今年度も堀部禮子さんより、敬老記念品授与式にあたり、お花の寄贈をいただいております。この場を借りてお礼申し上げます。



7月に満百歳となられた福井吉郎さん。賞状の他、銀杯も授与されました



99歳敬老祝金を受取る望月ハナさん



寄贈された花と記念撮影

■デイサービスセンター

9月14日～19日までの1週間を『ミニ敬老会』と銘打ち、新型コロナウイルスの感染拡大防止に配慮し、景品付きゲーム大会の開催と皆さまに心ばかりの記念品を贈呈しました。利用者皆さまの溢れんばかりの笑顔がたくさん見られ、

職員一同も大変うれしく思います。一刻も早い新型コロナウイルスの収束を祈りつつ、今後も感染対策を行い、利用者皆さまの健康増進に寄与したいと考えています。



受け取った景品を手に笑顔がみられました



何が当たるかな？お楽しみ抽選

たくさんの寄贈ありがとうございます！

この度、心和園において2件の寄贈がありましたので、ご紹介させていただきます。

1件目は、生命保険協会釧路協会より自走式車いす2台の寄贈がありました。車いすは普段施設内を車いすで移動する利用者にとって大切な移動手段です。新しくなることで気分も一新されとても快適に過ごすことができます。

2件目は、厚岸漁業協同組合より棹前昆布20kg

の寄贈がありました。我が町のなじみ深い食品を利用者の日々の食事の材料として取り入れることにより「食」を通じて故郷を感じることができます。この棹前昆布は、大変有難いことに毎年寄贈いただいております。

寄贈いただきました皆さま、この場を借りて改めてお礼申し上げます。



大切に使用させていただきます



昆布を手にとっても嬉しそうですね

梅香発信

No.1

**今月から『社協居宅介護支援事業所』より、
介護や福祉の日常でちょっとした気づきなどを紹介していきます。**

皆さん、立ち上がるときに「どっこいしょ」と言ってしまうことはありませんか。お年寄りだけではなく、若い人でも口癖になっている人が少なくないようです。「どっこいしょ」の語源は諸説ありますが、「ろっこんしょうじょう（六根清浄）」が「どっこいしょ」の語源という説があり、六根とは、「見る・聞く・嗅ぐ・味わう・触れる・思う」の6つの感覚のこと。この6つをキレイに清める言葉が六根清浄とのこと。

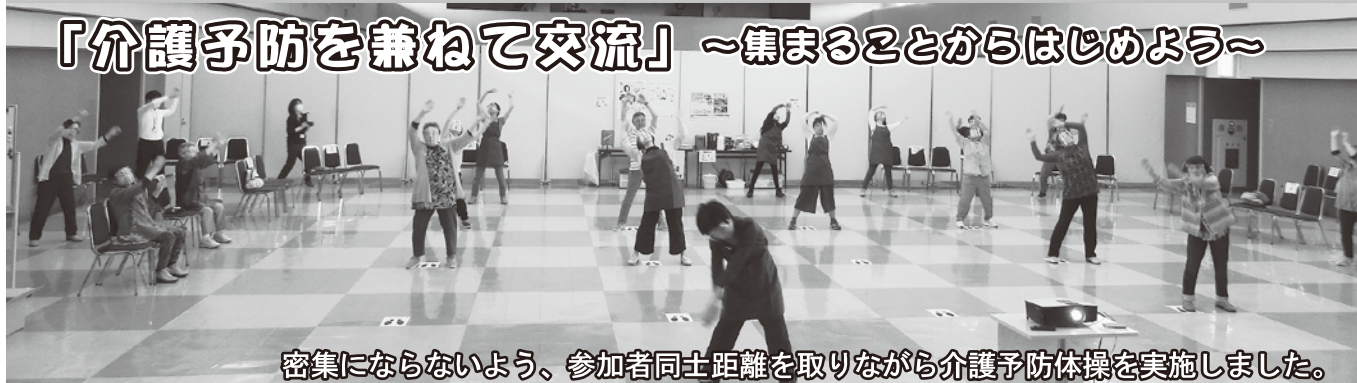
最近の研究で、掛け声に脳を活性する効果があることが分かったそうで、掛け声を出すことで、脳にもその刺激が伝わり、声を出さないときには出なかった力がでたり、うまくタイミングをとれたりするようで、脳もしっかり声を聞いているということ。

朝起きたときには「おはよう」、寝るときには「おやすみ」と声を出すことで、脳から体全体に刺激が伝わり、目覚めがすっきりしたり、寝つきが良くなったり、声を出す効果は思っている以上にあるようです。



生活支援コーディネーターの ウォーキングマップ Vol (14)

「介護予防を兼ねて交流」～集まることから始めよう～



密集にならないよう、参加者同士距離を取りながら介護予防体操を実施しました。

飲食を伴う交流のコミュニティカフェは3月から開催を見合わせていましたが、状況が緩和されてきたこと受け、9月15日に再始動し19名の方が参加しました。

今ある繋がりを切らないためにはどうしたらよいかをボランティアと一緒に話し合いました。集まることに不安がある方に対して「まずは集まることから始めてはどうか」という意見から、ラジオ体操などを行いながらコロナに負けない

身体づくりを目的に開催することになりました。

今回は身体を動かすので、熱中症に考慮してフェイスガードを配付しました。ラジオ体操の合間のコーヒータイムでは、フェイスガードのおかげで、顔をみながら交流を楽しめました。

参加者からは、広い場所で体を動かしたとても気持ちよかったという声が聞かれ、次回を楽しみにしているようでした。皆さんが喜んでいる顔を見てとても嬉しく思いました。

こんにちは！社協ヘルパーステーションです

第2回

ヘルパー日誌



厚岸には珍しく暑さが続きましたが、もうすぐ「今日も寒いね」が挨拶になる季節が来ます。

今回は、町内や病院などで見かけるヘルパー車のお話です。

ご利用者宅に訪問する際や、自宅～病院間の送迎などで町内を走行している、社協訪問介護事業所の車両、通称ヘルパー車は現在9台が動いており、その内7台がご利用者を乗せて走ることのできる車両となっています。

これらの車両には、ご利用者を安心・安全に送迎できるよう様々な工夫があり、車高が高い車に踏み台が積まれていたり、変わり種では、虫の多い季節に車両に虫が入った時のため、ハ

工たたきを積んでいる車両もあります。

コロナ禍の今、安心して乗車していただけるよう感染予防対策として、各車両に除菌スプレーや消毒用アルコールジェルを常備し、送迎後・終業時に車内の消毒を行っています。

毎日稼働しているヘルパー車。これからも利用者の皆さまが、安心安全に乗車できるよう運行していきます。



この車両は、今年4月からのNewフェイスです！

コロナ禍の老人クラブ連合会活動

厚岸町老人クラブ連合会では、会員の社会参加を図るため、生きがいにつながる趣味活動や、会員同士の交流を行うための活動を行っています。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で残念ながら中止としたイベントが多く、会員の皆さまには大変ご不便をおかけしました。

現在の状況

新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言解除後は、新北海道スタイルを基準としたマスク着用や手指消毒などの感染予防対策を実施しながら、感染リスクが比較的低い屋外活動のパークゴルフ教室や、参加者同士の密接頻度が少ない工作教室など、生きがい事業を中心に活動を再開しています。

しかし、例年多くの参加者が集う会員演芸交流会や女性部交流旅行のような大勢での飲食や宿泊が伴う事業は中止し、さらに、生きがい事業のカラオケ教室は、全国的に感染拡大がみられる昼カラオケの状況などを考慮し開催を見合わせるなど、事業ごとに都度開催可能かどうかを検討しています。



再開・開催した事業

■イベント

7月27日 シルバーフェスティバル杯
パークゴルフ大会

9月11日 交通安全のつどい

■活動（高齢者生きがい事業）

6月～ パークゴルフ教室

7月～ 工作教室



久々に行われた大会を楽しむ皆さん

■コロナ禍の今だからこそ、これまで築いてきた普段の繋がりが途切れないう、会員が集い交流できる機会をできるだけ創ることを念頭に、感染状況を鑑みながら継続できる活動・再開できる活動を模索していきます。

会員の皆さんへ。

新型コロナウイルス感染症を恐れ過ぎず、正しい知識や情報で感染予防を心がけましょう。



感染対策はしっかり行いましょう

《連絡先》 厚岸町老人クラブ連合会（厚岸町社会福祉協議会内）
厚岸町梅香2丁目1番地 ☎0153-52-7752

社協の 掲示板

社協情報を
お知らせする掲示板

寄付・寄贈ありがとうございます

皆さまの善意ありがとうございます。
(令和2年7月～令和2年9月分掲載)

【寄付金】

100,000円／匿名(福祉資金に)、300,000円／
匿名2件(特別養護老人ホーム心和園に)

【寄贈品】

▼法人運営

パスタ、米など／匿名2件、古布／床潭寿会老
人クラブ

▼心和園

紙オムツなど／飯田 實さん、梅田豊店
車いす／生命保険協会釧路協会、さお前昆布
／厚岸漁業協同組合

職員募集

ホームヘルパー(常勤・パート)

- ▼業務内容／利用者宅で身体介護(食事・入浴等)、生活援助(掃除・洗濯等)
- ▼募集条件／介護初任者研修(旧ヘルパー2級課程)修了以上の介護資格及び普通自動車免許
- ▼勤務時間／変形1か月単位(7:00～19:00の間で8時間以内)
- ▼賃金等／時給1,320円～1,420円、賞与、通勤手当、退職金制度あり
- ▼加入保険／雇用、労災、健康、厚生
- ▼応募方法／履歴書に資格証明書を添付し提出(郵送可)
- ▼その他／短時間で働く希望があれば、パート勤務も可能です。相談ください。

問合せ先 厚岸町社会福祉協議会総務地域課
電話0153-52-7752まで

私たちが社協で働いています

9月より在宅老人デイサービスセンターに勤務させていただいています、池田晴美です。

前職は、歯科業界で歯科技工士として働いていました。

この度転職を希望したのは、以前から社会福祉に興味があったからで、介護の仕事に携わる事ができて大変嬉しく思っています。

未経験の職種へのチャレンジではありますが、経験豊富な先輩方から多くのことを学び、地道に経験と知識を積みみたいと思っています。

微力ながら社会貢献ができるよう、精一杯頑張りますので、今後ともよろしく願いいたします。



在宅老人デイサービスセンター
介護員 池田 晴美

厚岸町社協広報『しゃっきー』

2020.10/No.177【編集】広報委員会(以下、委員)
米内山紘輝、中野絹恵、柏木由起子、杉本裕樹
熊谷重美、伊藤由弥子、本庄祐長、五十嵐愉美

社会福祉法人厚岸町社会福祉協議会
〒088-1115 厚岸郡厚岸町梅香2丁目1番地
厚岸町社会福祉センター内
TEL 0153-52-7752 FAX 0153-52-6044
mail info@akkeshishakyo.or.jp/